

風を切って突き進む。最先端の教育が、ここにある。

まなび

北海道奥尻高等学校



Hokkaido
Okushiri
High School

じま



2022年度入学生
生徒募集

『まなびじま奥尻』で新たな自分を見つけないか

2016年度に道立の高校から町立の高校に移管し、生まれ変わった「北海道奥尻高等学校」は、本校ならではの10のアドバンテージ(強み)を最大限に活かした教育を展開しています。

- ①四方を海で囲まれ、勉学に集中できる最高の学習環境
- ②ある意味、一つの国のような島で、地域振興を研究できるプロジェクト
- ③スクーバダイビングの資格がとれ、潜水士の資格に挑戦できるプログラム
- ④校外でも、社会人とともに高い英語コミュニケーション能力を身につける環境
- ⑤Teacher-student Ratioが1:6の世界がうらやむ学習環境
- ⑥難関大学から一般企業の就職まで、第一希望の実現に実績のある評価の高い進路指導
- ⑦ほぼマンツーマンで、個のニーズに特化した進路指導
- ⑧大学や企業と手を組み、積極的に町おこしについて考え、行動するプロジェクト
- ⑨受け身どころか、自分から説明や発表、質疑応答する機会が多い授業
- ⑩中心メンバーとして活躍できる部活動

これらの教育環境や学習機会をとおして、自ら進んで学ぶ力を身につけます。さらに、これからの人生をより良く生きていくために、3年間の高校生活で身につけてほしい資質・能力を『Okushiriety5.0』(「Okushiri(奥尻)」+「Society5.0(超スマート社会)」)と名付け、本校の校訓である「創造・自律・実践」のもと、5つの柱「知性」「価値の創造」「人間関係形成能力」「主体性」「ふるさとへの愛着」を身につけるための教育活動を、学校内だけではなく島全体で行っています。

本校は普通科の高校であり、水産や農業などの専門的な施設はありませんが、島にはすべての産業施設があり、そこで働くプロフェッショナル達が、専門的な知識や地域の活性化に関して、深い学びを与えてくれます。つまり、島全体が学校となり、君たちを成長させてくれます。それが『まなびじま奥尻』なのです。この奥尻島で君の限らない可能性を大きく伸ばし、新たな自分に出逢ってみませんか。『まなびじま奥尻』が君を待っています。



北海道奥尻高等学校長 佐野 住夫



ロゴに込められた
意味

- ◎五角形は佐藤義則氏を生んだ、野球が盛んな奥尻島の象徴として野球のホームベースをイメージしている。
- ◎上部の図形は、奥尻の山(神威山、球島山)と太陽に照らされている海を表しており、島全体が学校である「まなびじま奥尻」を表し、前に進む船のイメージでもある。
- ◎oQoは奥高の読み音「オッコー」を表しており、上の船尾の気泡をイメージしている。
- ◎2016は町立奥尻高校がスタートした年を表している。

奥尻高校沿革

昭和49年	北海道江差高等学校奥尻分校として設置認可(全日制普通科1学級)	平成 8年	開校20周年記念式典挙行、再入学制度の導入
昭和50年	昭和50年度入学合格者45名(男子25名・女子20名)発表 北海道江差高等学校奥尻分校として開校許可 開校式及び入学式挙行(入学生男子25名・女子18名・合計43名) 普通教室2・生徒玄関(219.48㎡)・自転車置場の増築工事完成	平成10年	平成9年度檜山管内教育実践表彰受賞
昭和51年	校歌制定、校舎増築工事(普通教室2・被服教室・芸術教室兼図書館・職員室・保健室・事務室・玄関・両便所)690.30㎡完成、改修工事(普通教室1・当直室)122.85㎡完成、北海道奥尻高等学校設置認可	平成14年	1間口校となる
昭和52年	北海道奥尻高等学校開校許可、開校式挙行	平成16年	体育館暖房改修工事完成
昭和53年	第1回卒業式挙行	平成18年	平成17年度教育情報化設備工事(校内LAN完成) 屋外プール改修工事完了
昭和54年	校舎増築工事(体育館他1,070.83㎡)完成	平成19年	開校30周年記念式典挙行
昭和61年	柔剣道場新築工事(310.10㎡)完成	平成24年	太陽光パネル設置
昭和62年	校舎改築工事(校舎・物置3,021.4㎡)完成、屋内体育館改築工事(屋体・渡り廊下1,073.53㎡)完成、創立12周年・開校10周年並びに校舎改築落成記念式典挙行、校舎改築外構工事完成	平成28年	町立移管記念式典挙行、北海道奥尻高等学校町立移管 まなびじま奥尻プロジェクト開始 北海道奥尻高等学校通学区域規則を改定し、全国からの生徒募集を開始
昭和64年	屋外プール新築工事完成	平成29年	連携型中高一貫教育導入、島留学制度開始
平成 7年	校訓(創造、自律、実践)の制定	平成31年	まなびじま松風寮完成、2019年度入学より入寮開始
		令和 2年	令和元年度檜山管内教育実践表彰受賞 学校教育目標改定、まなびじま松風寮増築完了 推薦入学者選抜試験導入
		令和 3年	令和2年度北海道教育実践表彰受賞



3年 飯島 拓海くん

奥高生活で自分が成長したと感じていることを教えてください。

コミュニケーション力だと思います。奥尻高校では、学校内外に関わらず多くの人と接する機会が多いです。貴重な経験を得ることができ、自分の考えを適切に相手に伝える力が身についたと実感しています。そのため、学校の授業での発表やオープンキャンパスの説明が入学当初から比べて、格段に良くなったと感じています。



奥尻での下宿や寮の生活の様子を教えてください。

先輩方の顔がとても生き生きとしていたことが印象的で、「とても明るくて楽しそうな学校」というイメージが強かったです。実際に入学して、そのイメージはさらに良くなりました。学校生活で不安なことなども先輩方や先生方が親身になって相談に乗ってくれるので、他の学校にはない魅力を感じる理由が分かった気がします。奥尻高校でしかできない高校生活を送りたいです。



3年 駒澤 萌氷さん



中学生に向けた奥高の自慢を教えてください。

海に囲まれている島ならではのスクーバダイビングに加え、地域に一つの高校として町の将来を考える機会が多くあります。また、生徒の人数が少なく、先生方が生徒一人ひとりとじっくり向き合い、教えてくれるので、授業も理解しやすいです。

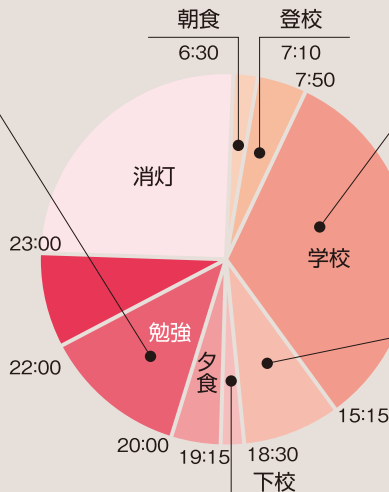


2年 佐々木 小春さん

奥高生の一日

寮や下宿での生活

寮には現在1~3年生の43名が生活しています。また、奥尻島にある民宿のご協力を得て、それぞれの民宿に2~5人程度が一緒に生活しています。寮のように大人数での共同生活ではないですが、その分同じ下宿に住むクラスメイトや下宿の大家さんと濃い関係を築けます。



まなびじま奥尻プロジェクト

普段の授業では、グループワークでの活動やプレゼンテーションを行う機会が多いです。そのコミュニケーションの場をより有意義にするために、本校ではピア・サポート・プログラムも実施しています。教科横断的に身につけた能力を全て生かす場として、町おこしワークショップなどを中心として、地域創生を追求したまなびじま奥尻プロジェクトが行われています。

放課後活動

放課後の時間は、野球部、女子バレーボール部、卓球部、吹奏楽部、ボランティア局、そしてオクシリノベーション事業部が活動しています。その他にも、スタディサプリで勉強に励む生徒や外部機関と連携して専門的な研究に取り組む生徒など、思い思いの活動を積極的に行っています。

まなびじま奥尻

世界が追い求める地域創生

町おこしワークショップ

本活動は、年間を通じ「総合的な探究の時間」で実施されます。ここでは、奥尻島で活躍する様々な分野のプロフェッショナルを本校に招き、各分野の課題について情報提供してもらいます。その課題解決に向けて、自分達ができることは何かを考え、地域創生の主体者としての態度と考え方を身につけます。



スクーバダイビング

奥尻島は大自然に囲まれた環境にあります。特に海のはしらはひとしおです。仲間とともに大きな感動を味わうことができます。また、NAUIオープンウォーターダイバー(Cカード)の資格を得ることができ、ひいては潜水士の資格にも挑戦することができます。奥尻高校ならではの活動を体験してみませんか。



奥尻パブリシティ本部

奥尻の魅力や価値を様々な視点から探究・発信することを通して、地方創生に関わり町の活性化を目指す取り組みです。実地調査や聞き取り調査で得られた発見や気づきを元に、各チームの強みを最大限生かしながら発信方法を工夫することで、表現力を高めることができます。



まなびづけ

連休などを利用し、年間を通して実施されている取組です。休日に町内の施設で早朝から12時間程度、集中して勉強します。希望者のみの活動ですが、自分で計画を立てて実践すること、お互いに刺激し合い勉強に打ち込むことなど、質の高い学習環境を提供しています。



Wifi二一ネー

奥尻高校では大学進学を目指す生徒への支援を惜しみません。離島の最大のデメリットである「塾や予備校が存在しない」という課題を解決するのがこの取組です。現役の大学生にインターネットを通しての支援を依頼し、受験勉強や進路選択のアドバイスをもらうことができます。



PROJECT



facebook

島の常識をくつがえす新たな取組

奥尻高校は「奥尻島」にある教育資源を最大限に活かします。
つまり、奥尻高校は、「奥尻島」をまるごと学校とみなし、地域と連携をとりながら
様々な実践を進めていきます。



ピア・サポートプログラム

「これまでの自分を変えたい」「人の役にたてる人間になりたい」という、誰もが一度は感じるであろう思いを具体的に現実のものにしようとする取組です。学年に関係なく、お互いをどうサポートすれば良いのか、自分をどう表現すれば良いのか、実際の体験を通してコミュニケーションスキルを学んでいきます。



メンタリングシステム

奥尻高校は中高一貫教育をすすめています。本取組は中高一貫教育の軸を占めるものです。つまり、高校生が中学生に対して様々な面でサポート活動をします。高校生は中学生に色々なことを教えるため、頭で理解するだけにとどまらない、深い学びを得ることができます。



English Saloon

様々な話題について英語でお互いの意見を交換し合い、自然に外国の方々と交流できる英語力を身につけ、世界への発信力を磨くことができます。これは、そのまま受験勉強にもつながっていきます。基本的に希望者のみの活動になりますが、奥尻高校生になれば誰でも参加することができます。



北海道南西沖地震の教訓を次世代へ スクーバダイビング

奥尻島は大自然に囲まれた環境にありますが、特に海的美しさはひとしおです。仲間とともに大きな感動を味わうことができます。また、ダイビングスキルを身につけることはもちろんですが、北海道南西沖地震を経験した奥尻島で海に触れることを通して、防災意識の向上を始め、環境保全の意識向上を目指します。

初級班

スクーバダイビング初心者（新入生）を対象に初級班を設けています。器材の扱い方や海中でのハンドシグナル、緊急時の対応等の基礎知識を座学で学び、プールで念入りの実習を経て、海洋実習へ向かいます。まずは自分とパディを相互に守れることを目標として、スクーバダイビングの基礎知識と基礎技術を身につけます。



中級班



座学・実習ともに、初級班よりもさらにレベルの上がった実習内容となります。「ボンベの空気がなくなった場合」のオクトパスブリージングやハンドシグナルなどを学び、集団の中で相互に助け合えるように緊急時の冷静な対応を目指し、海中での器材の脱着も練習します。

上級班

3年間の集大成として、2年間かけて培った知識や技術を前提として、初級班・中級班よりも高度な潜水技術や知識を学びます。スクーバダイビング選択者全体のリーダーとして、集団全体の安全を守るように、身につけたスキルを土台にして、臨機応変な対応力や視野の広さも身につけます。



ファンダイビング



約3ヶ月かけて培った潜水技術を活かし、奥尻の海の素晴らしさを肌で感じ、海中の景色や海洋生物の観察など、「楽しむ」ことを目的とした活動です。例年8月下旬に、スクーバダイビングの集大成として実施します。

※令和2年度スクーバダイビングは新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、活動内容を大幅に変更して実施しました。

◆潜水士合格者

将来、潜水士資格を獲得したら、どのように活用しますか？



高校卒業後はスクーバダイビングのインストラクターの道に進みたいと考えています。インストラクターと潜水士資格は直接関係はありませんが、潜水の知識をプラスαとして活用したいと考えています。また、潜水士資格を持っていることで、就職や転職活動が有利になることもあるため、今後進路が変わったとしても、進路活動がスムーズに行えるように挑戦しようと考えています。

3年 新谷 巧くん

◆資格取得状況

過去3ヵ年

年度	Cカード	アドバンスト	潜水士
平成30年度	8名	6名	4名
令和元年度	19名	8名	2名
令和2年度	0名	0名	6名

累計

NAUIスクーバダイバー (Cカード)	323名 (H 7～R 1)
NAUIレスキューダイバー	73名 (H11～H20)
NAUIアドバンストスクーバダイバー	157名 (H18～R 1)
潜水士	48名 (H 9～R 2)

※「Cカード」は水深18mまで、「アドバンスト」は水深30mまで潜れる資格。

スクーバダイビングでできること

パディシステムを通して、助け合う姿勢や安全への配慮、地震や津波などへの防災意識を向上させます。その中で、奥尻島の素晴らしい自然を肌で感じることができます。その反面、海洋ゴミを目の当たりにするかもしれません。海浜清掃などを通して、環境保全の意識も向上させます。その他、「潜水士」の資格取得に挑戦することもできます。



スクーバダイビングへの期待を教えてください。

スクーバダイビングは私が奥尻高校に入学した理由の1つです。私はスクーバを通して、海の生き物について学び、奥尻の海の魅力を発見してみたいと思っています。今からとても楽しみです。

1年 小林 最愛さん



スクーバダイビングへの期待を教えてください。

私はスクーバダイビングがやりたいくて、奥尻高校を選びました。昨年度は新型コロナウイルスの影響で例年通りとはいかなかったのですが、地元の方々などのご協力のおかげで、海浜清掃や地引網漁体験等を通して、奥尻の海に触れることができました。普段自分たちも遊ぶ浜を綺麗にすることができた達成感と、漂着ゴミを探究することで新しい発見も多く、多くの学びがありました。今年度は奥尻島の綺麗な海を体感したいです。

2年 松屋 藍瑞さん



スクーバダイビングを選択した理由を教えてください。

素潜りではいけないようなところまで潜っていくことができるので、それを通して、生まれ育った奥尻島の自然の豊かさを改めて感じてみたいと思いスクーバダイビングを選択しました。

2年 高田 佳心くん



スクーバダイビングの面白さを教えてください。

とにかく面白く楽しい活動です。奥尻の海の綺麗さを知っている人から全く知らない人でも楽しめます。潜りながら海の生物を見ることができ、自然の豊かさを体感することができます。そして、海の中で呼吸していることが不思議な感覚で面白いです。

3年 小濱 歩夢くん



持続可能な組織づくり→地域の魅力を再発見&発信!

奥尻パブリシティ本部

「発信」することを通して、地方創生に関わり、町の活性化を目指します。

パブリシティ(Publicity)とは…

マスメディアに流される、製品やサービスに関する報道

▶不特定多数の人に伝える手段や方法

→新聞・雑誌・出版物・テレビ放送・映画など

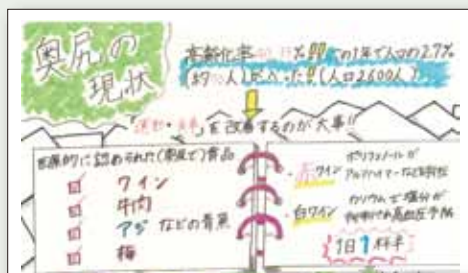
組織づくりから発信する内容や方法の検討まで
生徒が主体となって進めていきます

できること

奥尻町の魅力や価値を様々な視点から探して、実地調査や聞き取り調査を行います。その中で発見や気づきを元に、各チームの強みを最大限生かしながら、発信方法を工夫して表現力を高めていきます。また、異学年による組織に関わることで、協動的な学びが得られます。

実績

- 「緑館」の復興や廃施設の再利用に関するプレゼン
 - アドベンチャーツーリズムの企画
- など、様々な方法で発信しています。



パブリシティの面白さを教えてください。

「奥尻島の良さをどのように発信するか」を生徒が中心となって考えます。活動を進めていく中で、島の課題と向き合い、深く調べていくことで、自分たちも改めて島の魅力を発見することができます。一つのものを作り上げることで、大きな達成感や喜びを感じられるのが、この活動の魅力です。

3年 山下 美紅さん



パブリシティでどのようなことを学び、成長できたと思いますか？

地元である奥尻島の魅力を改めて考え直し、「どうしても奥尻の良さが伝わるのか」を話し合います。その中で、コミュニケーション力や協働することの大切さなどを学ぶことができました。最初は全く分からなかったことが、先輩方に教えてもらい、少しずつできることが増えていき、成長することができた実感しています。

2年 川本 空さん



パブリシティを選択した理由を教えてください。

元々水が苦手だったこともありましたが、パブリシティも奥尻高校でしかできない活動なので選びました。最初はわからないことが多かったですが、先輩や先生方からわかりやすく教えてもらいました。実際に企業にアポを取ったり、スライドを作成するなど、とても貴重な経験ができたと思います。

2年 野田 大智くん



パブリシティへの期待を教えてください。

自分は人前で自分の意見を発言したり発表することが苦手なので、奥尻パブリシティ本部では奥尻の課題の解決に向けてグループでの意見の交流や地域の方の前でのプレゼンテーションなどの機会を通して自分の苦手を克服し、より成長したいと思っています。

1年 大須田 琉聖くん

実績(発信例)

これまでのパブリシティ本部の活動

- 観光ガイド「奥尻三珠」の発行
- 緑館の復興や廃施設の再利用に関するプレゼン
- アドベンチャーツーリズムを企画 (奥尻島の自然との触れあい)
- Webサイト・アプリの開発

町おこしワークショップ

奥高生×奥尻島プロフェッショナル



今年度の町おこしワークショップへの期待を教えてください。



様々な分野のプロと一緒に考え、協力し、行動する。普段は得ることのできない専門的な知見を得られるのも魅力的ですし、町おこしワークショップを通して奥尻島にした貢献が、自分たちの奥尻島の生活にダイレクトに反映されるのも楽しみにしています。

1年 神原 智美さん

活動内容

奥尻高校では、奥尻島の課題に向き合うことで、現代で必要とされている課題解決能力を生徒全員が身につけることを目標としています。新しいことに対して臆せず挑戦することができる人材が今求められています。あらゆる分野の専門家の意見を取り入れ、生徒の「挑戦」が「現実」となる機会が、この町おこしワークショップです。

町おこしワークショップ(観光)の具体的な活動内容を教えてください。



観光グループは、奥尻島への観光客を増やすために、新しい景勝地をつくる活動をしてきました。課題解決に向けて、専門家との話し合いやプレゼン練習を重ね、実現可能性を重視した企画を考えました。奥尻島の課題と向き合える貴重な活動です。

3年 津山 雪菜さん

町おこしワークショップ(広報・運営)の具体的な活動内容を教えてください。



広報・運営グループは、主にFacebook等での広報と報告会の企画・運営を行います。昨年は最終報告会に向けて、広報用ポスターを作成や実際に会場の準備等を進めました。また、生徒が活動している場面を写真に記録し、FacebookやHPを使い拡散をしていました。報告会の運営は、事前に何度も協議を繰り返して、本番にミスがないよう臨機応変に動くのが大変でした。

3年 新谷 雄胡くん

町おこしワークショップ(エネルギー)の具体的な活動内容を教えてください。



エネルギーグループは、奥尻の地熱エネルギーを有効活用する方法について考えました。地熱発電などを稼働させる中で出る温水を「温泉濃縮水」という物に変えて販売するということを考えました。初めての体験で分からない事が沢山あったのですが、地域の専門家の方から助言をいただきながら、先輩達が分かりやすく教えてくれたのでいい結果を残す事が出来ました。

2年 山本 空くん

町おこしワークショップを通して、どのようなことが学べますか？



奥尻高校ならではの活動であり、奥尻の課題を全校で考え企画し実行することが出来ます。島内生だけでなく、島留学生の視点も加わったことで、今まででは思いつかなかったようなアイデアも生まれ、仲間と協力しながら創造力や実行力を身につけることが出来ます。

3年 三上 愛香さん

町おこしワークショップ(起業)の具体的な活動内容を教えてください。



地域で活躍するプロフェッショナルの方々から厳しくも暖かい言葉をいただきながら、自分たちの案の詰めの甘さに気づき、島の課題の本質を見直すことができました。最終報告会では、とても緊張しましたが、同じグループの先輩方や先生方のアドバイスのおかげで、無事成功し、この活動を通して、とても大きな自信ができました。

2年 細川 真結子さん

今年度はどのような町おこしワークショップにしたいですか？



昨年度は新設された「広報・運営グループ」として活動しました。新型コロナウイルスの影響により、当日はオンライン開催となり、計画していた多くのことを実行できませんでした。今年度は、町内での広報活動など、昨年度実行できなかったことにリベンジしたいです。その上で、全9つのグループそれぞれで仲を深め、成長し合える活動にしたいです。

2年 館 結衣さん

入学後の奥尻生活



奥高祭

コロナ禍での奥高祭(体育祭的学校祭)の思い出を教えてください。



応援団長として、全校生徒を巻き込み、学校を盛り上げられたことが、一番の思い出です。一人ひとりが力を合わせて、一つの行事に全力を尽くす姿が奥尻高校生ならではの特徴だと感じることができました。練習・準備はもちろんのこと、本番でもみんなが協力し楽しく終わったのも思い出です。今回は「何がよかった」ではなく、「皆良かった」と思っています。

3年 渡邊 友幹くん

コロナ禍での奥高祭(体育祭的学校祭)では、何をしましたか？

新型コロナウイルスの影響で、学校祭と体育大会が一つになりました。本番までに各クラスで練習し、お互いに協力してきました。自分のクラスは最終的に最下位でしたが、例年と違った形でも全校生徒が楽しむことができ、とてもいい形で終わることができたと思います。



2年 坂本 大翔くん



コロナ禍での奥高祭(体育祭的学校祭)の思い出を教えてください。

昨年度は奥高祭も体育大会も、新型コロナウイルスの影響で従来通りの実施ができなくなってしまいましたが、「1つでも多く思い出を残したい」という思いから、2つの行事を組み合わせた体育祭的学校祭を実施しました。前例もなく、3年生は進路活動で多忙なため、1・2年生が中心となり、模索しながら、屋内・屋外競技を合わせた2日間の計画を立てました。本番では、楽しみながら最高の思い出を作ることができ、進路活動に奮闘する3年生へ1・2年生が応援旗とメッセージを贈るなど、全校生徒が心を通わせる素晴らしい時間になりました。

3年 乾 美桜子さん

※令和2年度奥高祭は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、体育祭的学校祭として、日程・内容を変更して実施いたしました。



Kick-off Day

入学式の翌日、新入生の奥尻生活開始の日に、クラスメイトや先輩方と関係作りを行う場として実施しています。



Kick-off Dayの感想を教えてください。

Kick-off Dayでは、1年生同士の交流でグループになり、友だちのことを友だちに紹介する「他己紹介」をしました。また、私たち1年生1人に先輩方が2、3人メンターとしてついてくれて、相談や雑談をし、とても優しく接してくれて、不安が少なくなり、先輩との交流ができてとても良い経験になりました。

1年 山本 夕真さん

1年前のKick-off Dayが今に活きていることはありますか？

昨年度は感染対策のため、先輩方とグラウンドでジェスチャーゲームなどをするところから始まりました。初めて地元を離れて不安だらけだった私にとって、先輩方に悩みなどを聞いてもらうことで、不安が軽減し、とても楽しい時間でした。この活動のおかげで、奥尻高校のことを知ることができたことに加え、ここで学んだ人との関わり方や先輩方との関係が、日常生活から部活動等で活かされているように感じます。



2年 橋谷田 優和さん



入学式



1年 坂本 紳くん

入学式の感想を教えてください。

とても緊張した雰囲気でも迎えた入学式でしたが、2・3年生や先生方が温かく迎え入れてくれたので良い入学式になりました。これから共に入学した仲間と一致団結して、充実した高校生活を送ってきたいと思います。



入学式の感想を教えてください。

入学式当日は朝から緊張していました。ですが入学式当日、直接肌で感じた活気あふれる奥尻高校の雰囲気や緊張を期待に変えてくれました。奥高生としての自覚を持ち、新しいクラスメイトと高校生活3年間を濃いものにしていきます。

1年 保坂 美姫さん

奥尻高校にはどのようなイメージを持っていましたか？

私は奥尻高校のパンフレットや Facebook を見て、第一印象として、学年関係なく仲が良く、活気がある学校だと思いました。写真などを見たときも先輩方みんな笑顔で楽しそうなイメージがありました。実際に来てみて、優しく面白い先輩方が出迎えてくれて、この学校に来てよかったと思います。



1年 星 千夏さん



見学旅行



見学旅行の学びを教えてください。

見学旅行にどのようなイメージを持っていますか。もちろん「全力で楽しむ」が1番なのですが、現地を訪れることで学べるのが沢山あるのです。例えば、あのイニエスタ選手も試合しているノエビアスタジアム神戸は、特別広いわけではないのですが、災害時に避難所となり、生活できる構造になっているなど、見学旅行は現地に赴き「楽しんで学ぶ」ことができます。

令和2年度卒業生 齋藤 柊馬くん

※令和2年度見学旅行は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、中止いたしました。



宿泊研修



宿泊「しない」研修での学びを教えてください。

自主性の大切さを学び、行動力を身につけることができました。宿泊研修ではリーダーとして活動し、自信をもって発言することができました。また、自主研修を通してコミュニケーション能力など、社会で通用する力も身につけました。何より友人との仲も深まる機会となりました。

2年 川名 遥さん

※令和2年度宿泊研修は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、宿泊「しない」研修として、内容を変更して実施いたしました。

奥尻高校での進路活動を振り返った感想を教えてください。

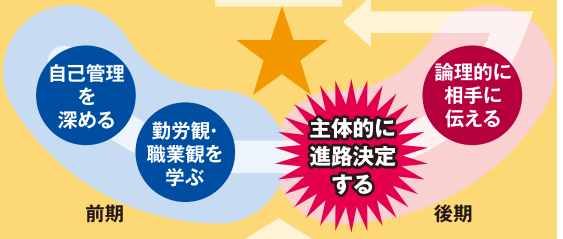
3年間の系統だった進路指導計画

三 学 年

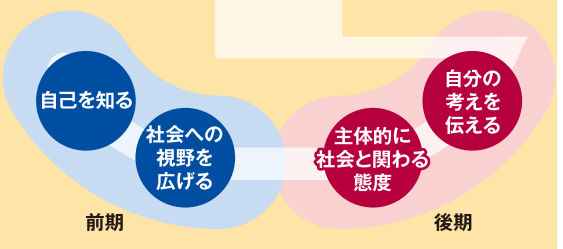
**進路目標達成に向けて
主体的に行動する**

二 学 年

進路目標決定



一 学 年



進路活動全体を通して、悩むことも多かったです。とても楽しく有意義な時間でした。悩み迷った時は友達と意見交換したり、ホワイトボードで自分の考えを整理してみたり、先生にも相談していました。先生は同じ立場に立ってアドバイスをしてくれたり、自分には思いつかない新しい視点を提案してくれたり、1年生の頃から寄り添ったサポートをしてくださいました。入学するまで進路活動は辛くて大変なものと思っていましたが、3年間でこの印象はガラリと変わり、悩みながらも自分と向き合い、考えを深めていけば、どんどん未来に対するワクワクが膨らんでいくことを知りました。奥尻高校での進路活動を通して、社会を見る視野が広がったとともに、以前よりも前向きでポジティブな性格に変わることができました。大学進学後も、この経験を忘れず大切にして、日々レベルアップしていきたいと思っています。



卒業生 川田 蓮さん

学内の町おこしワークショップや課外活動で地域活動に取り組んできました。3年次から地域活動を大学で続けたいと思い、悩んでいたところ、担任に勧められた現代福祉の学部に興味を持ち、志望しました。奥尻高校は1学年1クラスなので、一人ひとりに向き合う時間が長く、自分を理解してくれる先生ばかりなのでサポートが手厚いです。各々に合った進路と一緒に悩み考えてくれる先生方には感謝がありません。現在は現代福祉で地域のwell-being(幸福な暮らし)を目指し活動しています。奥尻で3年間思いっきり学び、経験し、最高の高校生活を送ろう!



卒業生 佐藤 紇斗くん

奥高のスクーバダイビング授業を通じて、将来ダイビングの仕事に就きたいと思うようになりました。このスクーバダイビングの授業をより多くの後輩たちに楽しんでほしいと思うと同時に、インストラクターの方々の苦労もわかり、島内にインストラクターがいれば、もっと円滑に授業を行えると感じていました。そこで、自分がインストラクター資格を取得するための進路を選びました。先生方に相談に乗ってもらいながら、特殊な進路選択だったため、情報収集を行い続けました。進路活動をする上では、両親との相談や情報収集など、自分でどれだけ早く行動できるかが大切だと実感しました。



卒業生 福野 悠斗くん

奥尻高校での進路活動を振り返ってみて、先生や友だちの存在はとても大きなものでした。先生は小さな情報でも将来に関係するものはなんでも渡してくれ、友だちは潜水士の勉強に協力してくれたり、先生にはできない将来の相談も友だちならできました。おかげで1人で悩むことが少なくなって気持ちが楽になりました。進路活動を振り返って「友だちと先生の存在は必要不可欠だ」と、改めて知ることができました。



卒業生 仲川 明夢くん

Wifi二一ナー



※新型コロナウイルス感染症により本校および各大学の活動にも大きな変更が生じたため、令和2年度の実施は見合わせました。

奥尻島は北海道の離島であるため「塾や予備校が存在しない」というデメリットがどうしても存在します。

そこで奥尻高校では「Wifi二一ナー」(オンラインで支援してくれる大学生)の協力の下で、遠隔個別相談によってデメリットの解消を図っています。「受験勉強の進め方」や「大学生活で気になるところ」などを現役の学生に相談することで、モチベーションの向上にもつながることができます。

Wifi二一ナーの感想を教えてください。

実際やってみた感想は「すごく面白い」。この言葉が一番に浮かびます。私は大学生のような年上の人が周りにいないので、この活動はとても貴重なものでした。基本的には勉強を見てもらうのですが、休憩中に大学の話を聞いたり、世間話もします。年齢が近いこともあり、非常に話やすく、気づいたら2時間も経過していた事もしばしばありました。また、相手の方から「アンリ」と話していて、私も勉強になる。」という言葉をいただいた事が最も印象深いです。回数を重ねていくうちに、大学生活への展望が開けて行くので、大変良い経験になりました。



3年 篠原 アンリくん



私たちの普段の生活には英語があふれています。電車や駅や空港、観光パンフレット、案内掲示板等、今や多くの産業において、外国人に目を向けられていることがほとんどです。そこで、奥尻高校では、学校外で様々なテーマに基づき、町の人も巻き込みながら、英語でディスカッションを行います。ここでの日本語は完全に禁止されていますが、英語を話そうとする前向きな意欲が何より重要です。そのため、語学力による評価はしません。積極的に英語を使うことは、受験対策にもなります。

English Salonに参加した感想を教えてください。

ALTの先生と一緒にミニゲームや雑談の中で英語を学べます。身近に英語を感じながら楽しく学ぶこともでき、地域の方々も参加するので、大勢の方々と交流を深めることができるという意味でも、とてもいい場になります。ハロウィンやクリスマスに合わせて、イベントもあるので、年々面白くなっています。



3年 青木 空翔くん

まなびづけ



「勉強したいと思っても長続きしない」「同じ勉強を繰り返してしまい勉強の効率が上がらない」「モチベーションは高いけど勉強方法が分からず、得点力が向上しない」などの悩みを持つ人は多いと思います。しかし、この取組によって、この答えを自分で見つけていくことができるのです。

まなびづけに参加した感想を教えてください。



長時間集中して勉強に取り組める空間になっています。周りを見れば友人が勉強をしているので、自然と自分もやらなければと思える空間です。1人で勉強をすることが苦手な人にはおすすめです。

2年 葦名 美月さん

スタディサプリ

スタディサプリをどのように活用していますか？



奥尻島に塾がないというマイナスな点をスタディサプリで補える事が最大の魅力だと思います。スタディサプリの使い方は人それぞれですが、大きく分けて、予習、復習、入試対策、資格試験対策があります。自分自身の性格や目的に適した使い方をすることが大切だと思います。1年生の時から、様々なパターンを試していく内に、自分自身に最適な使い方が見つかると思います。

3年 藤谷 爽悟くん

講義動画の視聴や活動メモなどで活用しています。予習・復習やこれまでの活動を記録することで、定期的に振り返ることもできます。自分の進路実現に向けた一つの手段になっています。

3年 津山 雪菜さん



おくよび

おくよび(放課後講習)はどのように役立っていますか？



勉強する時間と環境が整っているため、日常の勉強でもテスト対策期間でも、とても集中することができます。家での勉強が苦手なため、「おくよび」があることで、自ら勉強する習慣が身につく、勉強時間も相対的に増えてきているように感じています。

3年 唐川 みらいさん

デジタルポートフォリオ

スタディサプリの一部機能を利用したのになります。ポートフォリオとは、学校でのあらゆる活動を通して得た経験や、その時の感情、作品などの成果を、コンピュータの中にデジタル化して蓄積したものです。

自身の経験をアウトプットする機会にもなるので、よいリフレクションの場になります。

デジタルポートフォリオをどのように活用していますか？



私は日常にあった些細なことから学校行事のリフレクションなど、様々なことを記録するのに使用しています。過去の自分が、「その時にどんなことを思っていたのか」を記録することができるので、自身の気持ちの変化を見なおすことができ、進路活動を進めていくのに役に立っています。

3年 駒澤 萌水さん

授業や講演会の内容をまとめたり、参加したイベントや部活動で体験したことなどを、「学び」としてまとめています。経験したことは、時間が経つと忘れてしまいますが、ポートフォリオとしてまとめておくことで、経験談として定着できます。また、その時の自分が感じたことや頑張ったことなどが言語化されるので、自己理解や進路活動にも役立っています。いつでも打ち込めて、いつでも読み返せるのが、デジタルならではの利点だと思います。



2年 細川 真結子さん

近年の合格実績

国公立大学	小樽商科大学、弘前大学、札幌市立大学、名寄市立大学、室蘭工業大学、釧路公立大学
私立大学	北海学園大学、星槎道都大学、札幌学院大学、酪農学園大学、函館大学、北海道商科大学、北海道医療大学、札幌大谷大学、北海道情報大学、札幌大学、北翔大学、八戸工業大学法政大学、立教大学
短期大学	北海道武蔵女子短期大学、新渡戸文化短期大学、帝京短期大学
看護学校	岩見沢市立高等看護学院、市立室蘭看護専門学院、市立函館病院高等看護学院、北海道立江差高等看護学院
専門学校	経専調理製菓専門学校、札幌スポーツ&メディカル専門学校、北海道立函館高等技術専門学院、経専北海道どうぶつ専門学校、大原法律公務員専門学校 専門学校北海道リハビリテーション大学校、札幌リハビリテーション専門学校、北海道芸術デザイン専門学校、北海道立旭川高等技術専門学校、函館歯科衛生士専門学校 札幌観光ブライダル・製菓専門学校・札幌ブライダル専門学校、文化服装学院、札幌医学技術福祉歯科専門学校、東京誠心調理師専門学校 大原簿記公務員医療情報ビジネス専門学校津田沼校、札幌商工会議所付属専門学校
就職	株式会社VOREAS、海上自衛官(一般曹候補生)、海上自衛官(自衛官候補生)、奥尻町役場、奥尻町観光協会、日本郵便株式会社、有限会社奥尻総合サービス、大同舗道 札幌国際観光株式会社、株式会社大歩、有限会社湯の浜、株式会社コミュニティネットゆいま〜厚沢部、株式会社藤井工務店、自衛官(一般曹候補生・海上)、東京鉄塔校時株式会社 奥尻消防署、ホクセイ商事株式会社、株式会社木村興業、奥尻町地域おこし協力隊、MAREA Diving College短期集中インストラクターコース、大同舗道株式会社

ピア・サポートプログラム

本校ではピア（仲間）によるサポート（支援）のトレーニングに本気で取り組んでいます。



ピア・サポートプログラムによって、学校生活に変化はありましたか？

まだ右も左も分からないまま入学し、最初の行事がピア・サポでした。分からないことだらけで不安だった私を先輩が、学校について丁寧に教えてくれてとても心強かったです。学校で疑問に思ったことや奥尻高校の行事等についても教わったので、これからの学校行事が楽しみになりました。

2年 香川 朱瑛瑠さん

ピア・サポートプログラムを通して身についたことは何ですか？

協力性と雰囲気づくりが身につきます。ピア・サポートで課題やゲームに取り組む中で、全校生徒の壁を薄くし、距離を縮めます。そうすることで、全員で協力しながら、良い雰囲気づくりができ、自分の意見もはっきり伝えられるようになります。その効果として、授業内のグループワークや学校行事がより良くなるなど、日常の充実につながります。



3年 岸上 晴香さん

ピア・サポートプログラムの感想を教えてください。

生徒会執行部で企画・運営を行っています。昨年度は、コロナ禍でできることが限られていましたが、全校生徒が仲良くなる機会にはなったと思います。特に新入生と在校生の距離が近づくように様々な企画を準備しますが、企画以外にも新入生と在校生が2~3人でグループを作り、気になっていることや心配事を相談できる関係作りを目指します。異学年間の交流も深まり、とても楽しい活動なので、恥ずかしがらずに参加してほしいです。

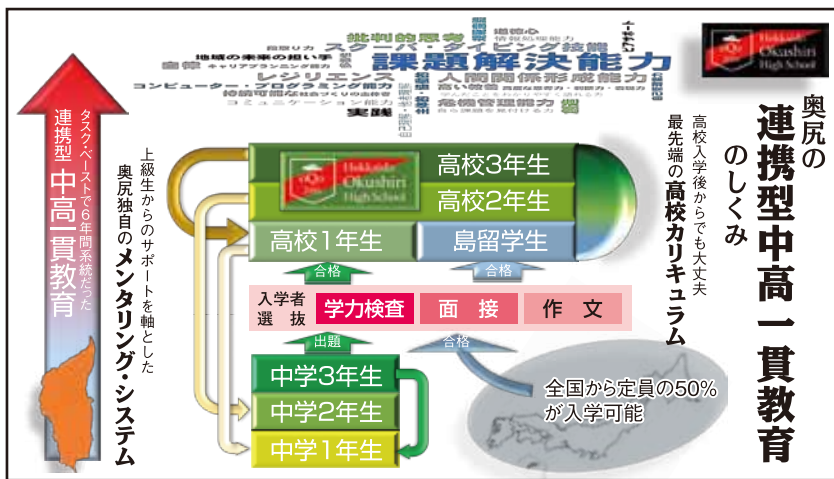


3年 明上 海斗くん



メンタリングシステム

平成29年度より始まった連携型中高一貫教育の軸として、メンタリングシステムを設けています。このシステムは、上級生が下級生の、高校生が中学生のメンターとなり、様々な面での支援活動を行っています。ピア・サポートプログラムとともに教え合う環境を整備することで、内容の定着度が大幅に向上することが期待されます。



2022年度 教育課程表

平成30年度から、奥尻高校は45分7時間授業となりました。さらに、チャイムもなくなりました。これにより、社会人として必要となる時間管理能力が磨かれるきっかけを作ります。

※単位数あみかけについては、必修科目を表す。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
1学年	現代の国語	言語文化	公共				数学I(+1)	数学A	化学基礎	生物基礎	体育	保健	音楽I	英語コミュニケーションI	歴史総合	情報I	総合的な探究の時間	LHR														
2学年	論理国語	地理総合	政治・経済	基礎数学	英語研究	物理基礎	化学(-1)	体育	保健	英語コミュニケーションII	家庭基礎	数学B	音楽II	論理・表現I	総合的な探究の時間	LHR																
3学年	論理国語	世界史探究(+1)	体育	英語コミュニケーションII	数学研究	古典講読	理科研究	地理探究	奥尻島防災スポーツ	数学II	数学C(+1)	物理	論理・表現II	総合的な探究の時間	LHR																	

《2学年》※1 数学II(4単位)、基礎数学+英語研究(2単位+2単位)から選択。 ※2 数学B、音楽IIから選択。

※3 論理・表現I、奥尻創生アプリ学Aから選択。

《3学年》※4 古典講読、理科研究、数学探究から選択。 ※5 数学III、地理探究、価値創造DTMから選択。 ※6 数学C、奥尻島防災スポーツ、奥尻英語から選択。

※7 物理、演奏研究、古典探究から選択。 ※8 論理・表現II、奥尻創生アプリ学Bから選択。

※履修科目については、一部変更となる場合があります。

全ての奥高生が自分の進路を、自分で選択できる

H A S S Y A D A I

Session

奥高では、一般社団法人 HASSYADAI social にご協力いただき生徒の進路実現に向けた探究活動を行っています。

「Choose Your Life」をテーマに、ディスカッションやプレゼン活動などを通して、「なりたい自分を見つける」活動を行っています。



HASSYADAI Sessionは、あなたにとってどのような刺激になりましたか？



HASSYADAI さんとのセッションは、メンタル面の知識など新しい知識を得られ、高校生活で身につけた技術のブラッシュアップさせることができました。自分の強みや好きなことに素直になれず進路活動でも不安が大きかったのですが、「自分の人生を自分で選択する」、「野生のゾウ」という言葉に背中を押され、自分の好きなことを学び行く決心がつかしました。進路活動を進める3年生で、この機会を得られたのはとても貴重な経験でした。とても価値のある学びや出会いがありました。

卒業生 浦山 ひかるさん

HASSYADAI Sessionを1年間行った感想を教えてください。



「私がどういう人間なのか」、「私の性格はどのように出来ているだろうか」や「どのように人と関わっていけば良いか」など、自分を見つめ直す機会となり、自分について多くの事を知ることができました。とても貴重な経験となり、もっと自分のことを知りたくくなりました。

2年 高山 昌良くん

HASSYADAI Sessionを1年間行った感想を教えてください。



HASSYADAI さんの授業の感想を一言で表すと、そのまま「すごく面白い授業」だと感じました。自分の進路に悩んでいる人や、価値観について悩んでいる人にとって、とても刺激になるとと思います！1年で、「自分は何をしたいのか」をみんなとの意見交流を通して発見することができます。色んな質問を答えて記入していくうちに、自分が目指していたものや興味のあるものが分かってくるので、とても面白い体験をさせてもらいました。

3年 菊地 玖海くん

可能性が広がるオンライン 奥高のオンライン授業

会いたくても会えない人に会える。

日常の授業からキャリア教育まで、ひとつのテクノロジーを駆使することで、それが可能になります。



コロナ禍で実施したオンライン授業の感想を教えてください。



新型コロナウイルスの影響で授業を受けることができない時期があり不安でしたが、オンライン授業を受けることができ、勉強への不安がなくなりました。また、1人だけの空間なので勉強に集中することもできますが、学校に行って皆と楽しく勉強したいなと思うこともありました。

3年 府金 風愛さん



入学後、クラスメイトや先生方との初の対面がオンライン授業でした。最初はとても緊張しましたが、グループワークやアイスブレイクを通して、オンライン上でも仲良くなることができました。対面授業になってからも、オンライン授業のおかげでクラスや授業の雰囲気早く慣れることができたと感じています。

2年 加藤 八恵佳さん



オンライン授業が始まる時は、同級生の顔も先生の顔も知らない状況で授業は成り立つのかな、と不安でいっぱいでした。それでも先生方がゆっくり優しく授業を進めてくれたおかげで、しっかり理解できました。また、オンライン授業でもグループワークを行い、対話の中で新しい学びを得ることができたと実感しています。

2年 石塚 善大郎くん

Baseball 野球部

野球部の活動を詳しく教えてください。

選手6名、マネージャー2名の8名で活動しています。遠征の時は島外のチームと合同で練習します。全員が仲が良く、学年の壁を感じず、とてもいい雰囲気です。野球を楽しんだ先に勝利があるという思いを込めて、「楽笑」というテーマで活動しています。今年度も新型コロナウイルスの影響で活動に多くの制限がかかると思いますが、感染対策を万全にして遠征にも行きます。ここでしかできない経験をしましょう。選手もマネージャーも待っています。



主将
3年 小島 永遠くん

Volleyball

女子バレーボール部
女子バレーボール部の活動を詳しく教えてください。



主将
3年 武澤 心さん

「自分の強みを見つける」ことを目標にして、3年生2名と2年生3名の計5名で活動しています。実際に野球部などにも協力してもらいながら、実践練習や基礎練習を行い、バレーボールというスポーツを研究しています。練習メニューや活動目標も部員全員の意見を尊重し、技術向上はもちろんですが、人間的な成長に向けて多くのことに挑戦しています。

Table tennis 卓球部

卓球部の活動を詳しく教えてください。

卓球部は、「人に優しく、自分に厳しく」をモットーに、現在男子11名、女子4名の計15名で活動しています。毎週月曜日を休みとし、週5回を目安に練習に励んでいます。昨年度は、新型コロナウイルスの影響で、大会へ出場することができなかったのですが、その時間を練習に費やしたので、今年は皆で大会に出場し結果を残そうと、今も頑張っています。

主将
3年 高橋 銀河くん



部活動から社会貢献を目指す。

奥尻高校の部・局活動

あらゆる形で活躍する場所が、君を待っています。

OKUSHIRI Innovation Division オクシリイノベーション事業部

OIDの活動を詳しく教えてください。

「部活動を支援している部活動」で、遠征費を稼いでいます。主な活動は、オリジナルトレーナーやTシャツの販売、株式会社良品計画さんの協力により年2回の代理販売「奥尻マルシェ」を実施できています。また、「ローカルニッポン」というウェブサイトに、奥尻島についてもっとよく知らせてもらうための記事を書かせてもらっています。さらに、奥尻高校のFacebookで部活動紹介も行っていて奥尻高校の今を伝えています。



部長
3年 岸上 晴香さん

Wind Orchestra

吹奏楽部



部長
3年 富山 紗雪さん

吹奏楽部の活動を詳しく教えてください。

現在10名で活動しています。普段の活動では和気あいあいと部員同士助け合いながら演奏の完成度を高め、個々のスキルアップを目指しています。そして、夏のコンクールや校内演奏会、各学校行事の他にも地域のお祭りなどでも演奏を披露しています。

Volunteer

ボランティア局

局長
3年 渡邊 友幹くん

ボランティア局の活動を詳しく教えてください。

昨年度は新型コロナウイルスの影響で多くの活動に制限がありましたが、グリーティングカードの作成やゴミ拾い、赤い羽根募金などを行っています。奥尻ムーンライトマラソンでは、全校生徒に声をかけ、皆でボランティア活動を実施しています。



令和2年度より推薦入学者選抜(面接等)を実施しています

【期日・会場】 令和4年2月10日(木)奥尻高校 【入学枠(%程度)】 30%(12名)・国内全域

【推薦の要件(志望してほしい生徒像)】 基本的な生活習慣と基礎的な学力が身に付いており、次の両方を満たす生徒

- 1.本校の特色ある取組を理解して、地方創生に興味・関心を持ち、地域の課題解決に向かって主体的に取り組む姿勢のある生徒
- 2.学校行事・生徒会活動・部活動・探究活動等に意欲的に取り組み、自己を高めるための努力を惜しまない生徒

奥尻町の補助金制度

1.全生徒に対する助成

項目	補助金額等	手続き	備考
見学旅行助成金 (2学年)	実質旅行代金の3分の1を補助	必要	学校より別途案内
スクールバス料金	無料(学校教育に係るもの)	なし	私用でバスに乘车する場合、定期券購入(月1,100円/2021年度)
リクルートスタディサプリ 使用料	実質使用料の3分の2を補助	なし	
昼食費(弁当)	1食650円の半額を補助(2021年度)	必要	島の房暖ロッジ取次団へお問い合わせください。

2.島留学助成金(奥尻町外からの入学生に対する支援)

項目	負担額	補助金等	手続き
交通費(帰省・来島)	生徒本人	実質の半額(年4回) 上限 30,000円	必要 島の房暖ロッジ取次団へ お問い合わせ下さい。
	保護者	実質の半額(年2回) 上限 30,000円	



潮風寮



松風寮



カサイ



竹田荘

寮・下宿完備

全国から奥尻高校で学びたいという声が多く届いてきています。その希望を叶えるために下宿の他に新設した寮を用意しています。寮・下宿での生活はこれまでの生活とはガラリと変わります。奥尻島での3年間は何にも代えがたい貴重な経験です。この魅力あふれる奥尻島で3年間を過ごしてみませんか。

1年間過ごしてみてもなびじま松風寮での生活の様子を教えてください。

一人一部屋が準備されています。各自部屋で勉強したり自由に過ごしています。休日には、共用スペースに集まり、昼食をとったり、ゲームをしたりすることが多く、困った時には友達や先輩に頼ることができるので、一人で島にきた不安や寂しさも軽減されました。一人の時間を楽しむことも、友達と交流することもでき、快適に過ごしています。

2年 平田 要さん



島おや制度

島留學生が安心して生活していけるよう、島おや制度があります。より深く島を知りたい、楽しみたい。そのような時に島おやがサポートしてくれます。もしかすると、釣りに連れて行ってもらえたり、手料理を振る舞っていただけたり、奥尻島のローカルな観光ツアーをしてもらえるかもしれません。島おやは皆さんが奥尻島で過ごす時に、一番お世話になる人たちです。

このようにみなさんが安心して生活できる体制を整えております。詳しくは下宿等を斡旋している島の房暖ロッジ取次団(下参照)にご相談下さい。

島おやは皆さんが奥尻島で過ごす時に、一番お世話になる人たちです。

このようにみなさんが安心して生活できる体制を整えております。詳しくは下宿等を斡旋している島の房暖ロッジ取次団(下参照)にご相談下さい。

島おやは皆さんが奥尻島で過ごす時に、一番お世話になる人たちです。

このようにみなさんが安心して生活できる体制を整えております。詳しくは下宿等を斡旋している島の房暖ロッジ取次団(下参照)にご相談下さい。

島おやは皆さんが奥尻島で過ごす時に、一番お世話になる人たちです。

このようにみなさんが安心して生活できる体制を整えております。詳しくは下宿等を斡旋している島の房暖ロッジ取次団(下参照)にご相談下さい。

島おやは皆さんが奥尻島で過ごす時に、一番お世話になる人たちです。

このようにみなさんが安心して生活できる体制を整えております。詳しくは下宿等を斡旋している島の房暖ロッジ取次団(下参照)にご相談下さい。

島おやは皆さんが奥尻島で過ごす時に、一番お世話になる人たちです。

このようにみなさんが安心して生活できる体制を整えております。詳しくは下宿等を斡旋している島の房暖ロッジ取次団(下参照)にご相談下さい。

島おやは皆さんが奥尻島で過ごす時に、一番お世話になる人たちです。

島おやとは普段どのように関わっていますか?



3年 武澤 心さん

昨年度はコロナ禍ということもあり、あまり直接的に関わることはできませんでしたが、帰省する際の送迎でご協力いただく他にも、一緒に外食したり、奥尻の観光スポットに連れて行ってもらうたりと第二の家族のように接してくれます。多くの場面でサポートしていただき、とても心強く、お世話になっています。

島留學生出身地

- ◎北海道37名
- ◎埼玉県1名
- ◎東京都3名
- ◎神奈川県1名
- ◎千葉県2名
- ◎大阪府2名
- ◎三重県1名
- ◎京都府2名
- ◎岡山県1名
- ◎高知県1名

島の房暖ロッジ取次団

奥尻町教育委員会の職員や奥尻町役場の職員らで組織する島の房暖ロッジ取次団が島外から留学する皆さんのための宿舎の手配を行います。詳細については右記の連絡先までお問い合わせ願います。

〒043-1401
北海道奥尻郡奥尻町字奥尻314番地 奥尻町教育委員会内
TEL:01397-2-3890 FAX:01397-2-3891

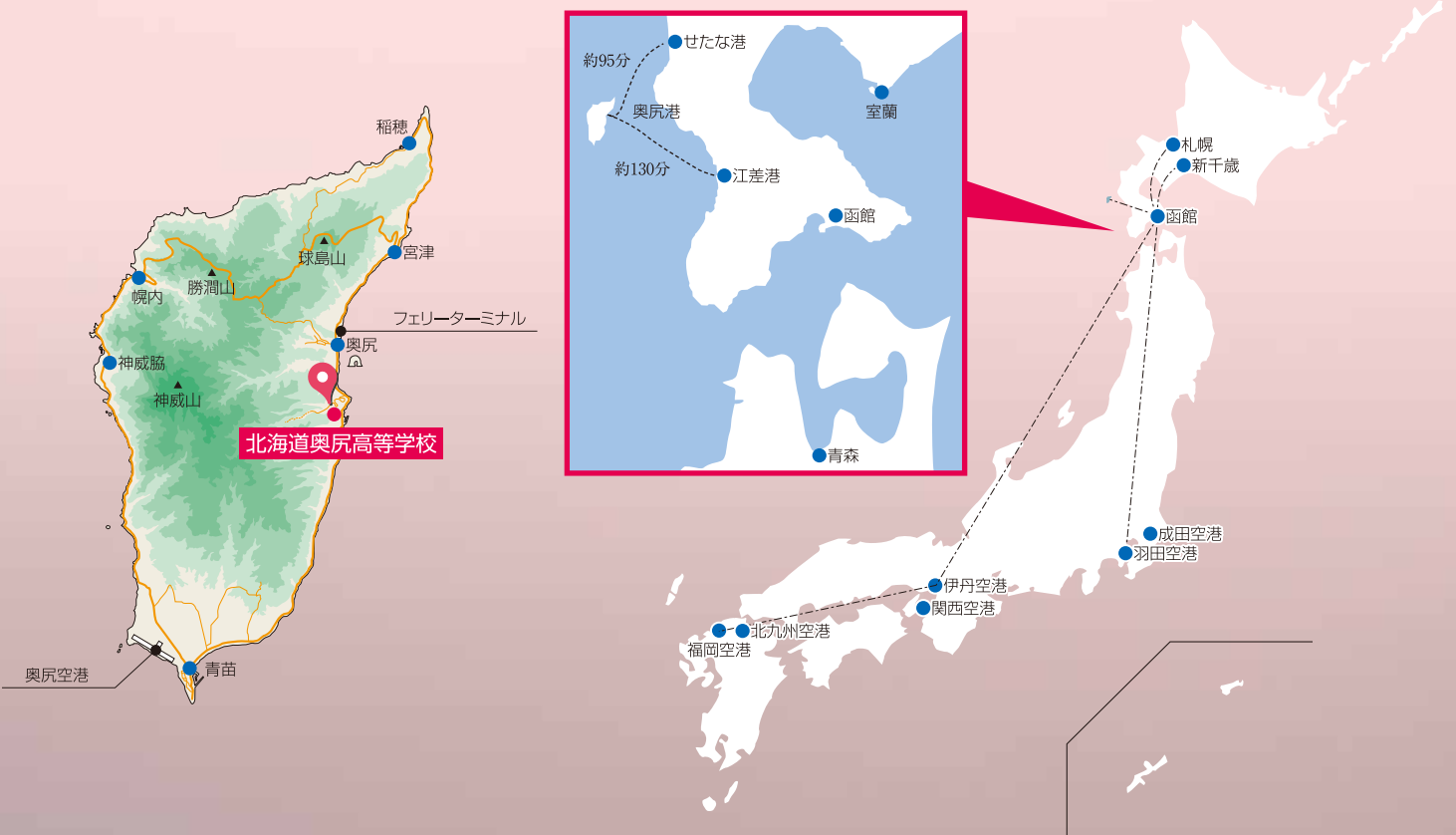
※入試説明会を全国各地で行っています。
詳細は本校ホームページまたはfacebookで御覧いただくか、上記取次団にお問い合わせ下さい。

北海道の離島「奥尻島」だからこそできる島留学
新しい日常の中で日々の成長を
実感してみませんか?

離島だけど意外に近い

【フェリー航路】

【各都市からの空路】



北海道奥尻高等学校

飛行機

- 函館空港→奥尻空港……………30分
- 丘珠空港→函館空港→奥尻空港
- 新千歳空港→函館空港→奥尻空港
- 羽田空港→函館空港→奥尻空港
- 中部国際空港→羽田空港→函館空港→奥尻空港
- 伊丹空港→函館空港→奥尻空港
- 関西空港→羽田空港→函館空港→奥尻空港
- 福岡空港→羽田空港→函館空港→奥尻空港

北海道新幹線

- はやて:盛岡→新函館北斗
- はやぶさ:東京→新函館北斗
- ※新函館北斗からバスに乗換

自動車

- 函館→江差……………1時間45分
- 札幌→江差……………5時間

バス

- 函館→江差……………2時間10分

フェリー

- 江差→奥尻……………2時間10分
- せたな→奥尻(運行休止中)……………1時間35分



北海道奥尻高等学校

HP : <https://www.town.okushiri.lg.jp/highschool/>
 E-mail : okushiri-z0@hokkaido-c.ed.jp
 facebook : <https://www.facebook.com/Okushiri/>

〒043-1402 北海道奥尻郡奥尻町字赤石411-2
 TEL.01397-2-2354(事務室)
 TEL.01397-2-2523(職員室)
 FAX.01397-2-2354



facebook



ホームページ